

フィリピン政府は3月24日、米・イスラエルとイランの戦争による原油価格の高騰などを  
受け、「**国家エネルギー非常事態**」を宣言しました。

非常事態宣言により以下の項目が明らかになりました。

- フィリピン政府は当時、国内燃料在庫を約45日分と説明
- 非常事態は1年間有効
- 政府が通常より迅速に燃料調達を行える体制に

私も今まで経験したことのない、未曾有の事態です。

代理店様やお客様の中には、バギオの現状が気になっている方も多いと思います。

そのため、こちらのメールでは、非常事態宣言をうけて1週間ほど経ったバギオの現状を  
ご報告致します。

#### ▶ 非常事態宣言後のバギオの現状

結論から申し上げますと、現状は、今までとほぼ変わらない状況で運営ができております。

スタッフや講師たちは通常通り出勤できておりますし、食事も予定通り提供できています。  
予想外の停電なども発生しておりません。

バギオ市の情勢として現状認識として現状お伝えできることは、次の通りです。

- ① 燃料はまだ入っている（混乱は起きていない）
- ② ただし価格は高騰しており、輸送・物流・学校運営コストに直撃
- ③ 電力供給は今のところ維持も料金上昇と夏場の逼迫リスクは高い
- ④ バギオ市は監視と補助策を動かしているが、根本的には世界市況次第

つまり、今のバギオは「コスト上昇と運営負荷がじわじわ深刻化している状況」です。

ジプニーやタクシーの運賃はまだ値上がり増していませんがいつもより本数が少ないなど  
の影響は出ております。

#### ▶ 今後の対応について

現状当校に滞在されている学生は通常通り生活できておりますが卒業が近い方は、帰りの  
交通手段の確保や運賃などを気にされている方も多いようです。

また、今後留学を控えている方にとっても情勢次第でフィリピンの語学学校の対応がどう変化するのか不安に思われている方も多いでしょう。

未だに不透明な状況が続いておりますが情勢の変化次第では状況が悪化し学校側も対応や判断を迫られる可能性も出てきます。

そうなった時にスムーズに行動できるように現在、代表とマネジメントが協議を進めております。

協議の結果が分かり次第、追ってすぐに皆様にもご報告をさせていただきます。

また、バギオの運賃や物価などに急激な変化が生じた際も出来るだけリアルタイムの情報発信を心がけます。

取り急ぎ、緊急事態宣言から1週間経ったバギオの現状を報告させていただきました。

こちらの情報が少しでもお役に立てば幸いです。